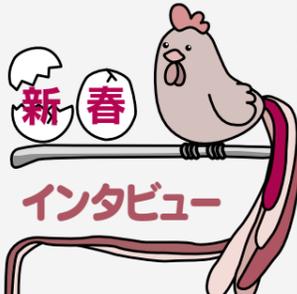


 <p>熊谷美咲さん (大沢小5年) 平成5年6月生まれ</p> <p>6年生になれば勉強が難しくなると思います。算数では計算がもっと正しく早くできるように頑張ります。国語では漢字の書き順をしっかりと覚えたいです。</p>	 <p>及川大輔君 (豊間根小5年) 平成5年6月生まれ</p> <p>水泳は大好きだけど今のところ15分しか泳げません。今年は平泳ぎでもクロールでも25分泳げるようになります。勉強では苦手な漢字をもっと頑張ります。</p>	 <p>山口弥久さん (荒川小5年) 平成5年9月生まれ</p> <p>最上級生になるので、先頭に立ってみんなをまとめていきたいです。特に縦割り班の班長として、掃除や児童会活動などで下級生の指導をしていきたいです。</p>	 <p>福士千喜子さん (織笠・47歳) 昭和32年10月生まれ</p> <p>昨年は家族が健康に1年を過ごせて何よりでした。わたしは酉年生まれのせいもいつもパタパタしているので、今年は余裕を持った生活を送りたいですね。</p>
 <p>阿部京介君 (織笠小5年) 平成5年8月生まれ</p> <p>スポ少の野球ではショートを守っています。去年の新人大会では優勝することができました。守備もバッティングもさらに上達するように練習を頑張ります。</p>	 <p>堀合可那絵さん (山田南小5年) 平成5年4月生まれ</p> <p>去年の町内の美術コンクールで優秀賞をもらいました。絵を描くことが大好きなので、これからも風景画など、いろんな絵にチャレンジしていきたいです。</p>	 <p>佐藤陽介君 (山田北小5年) 平成5年8月生まれ</p> <p>去年は、サッカーの大会でフォワードとして年間10得点を挙げました。今年は年間15得点を目標に、いろんな大会で優勝できるように練習を頑張りたいです。</p>	 <p>佐々木健さん (田の浜・35歳) 昭和44年5月生まれ</p> <p>10代のころ36歳といえば、立派な大人というイメージでした。今年36歳になりますが、自分はまだまだ未熟です。今年をもっと自分を磨いていきたいですね。</p>
 <p>平澤幸司君 (大浦小5年) 平成5年5月生まれ</p> <p>去年は陸上記録会の高跳びで3位、水泳記録会の50分パタフライで2位でした。今年は高跳びで1分10秒、パタフライでは1分以内の記録を目標に頑張ります。</p>	 <p>田代真由さん (船越小5年) 平成5年10月生まれ</p> <p>鯨館の行事やB&Gの海洋教室がおもしろかったの、これからもいろんな行事に参加したいです。そしてたくさんの人と交流して、友達をつくりたいです。</p>	 <p>福士楓君 (轟木小5年) 平成5年8月生まれ</p> <p>去年はユニホック大会ですぐに負けたので、今年は練習を頑張って上位に入賞したいです。勉強では大好きな算数に力を入れて、もっと成績を上げたいです。</p>	<p>えと 今年の干支は酉</p> <p>今年酉年。酉(鶏)は、毎日夜明けを告げる役割を持っている祝い鳥で、古来より祝い物として衣装や装飾、絵画などに鳥の文様が好んで用いられてきました。また、取り、に転じて、財や福を取り込む——という言葉から、特に縁起の良い年とされています。ちなみに町内の酉年生まれの方は、平成16年12月17日現在で、1,498人(男702人、女796人)となっています。</p>

酉

酉年生まれ11人が 今年の抱負を一言



新春インタビュー

新しい年が幕を開けました。町民の皆さんも新たな夢と希望に満ちあふれ、大きく胸を膨らませていることと思います。今号では新春インタビューとして町内の酉年生まれ十一人に新年の抱負を語っていただきました。今年一年が平和で素晴らしい飛躍の年になるよう、みんなが頑張りましょう。



山田町長 沼崎 喜一

町長からの 年賀状

新年明けましておめでとうございます。旧年中、町政推進のために寄せられました町民の皆さまのご支援、ご協力に對しまして心よりお礼申し上げます。振り返ってみますと、昨年も災害の多い年でありましたが、幸い本町では大きな被害はなく、比較的穏やかな年だったと思います。しかし、中央では景気の

好転が伝えられているものの、地方への波及はまだ見え、依然として厳しい環境に置かれています。今年こそは——との思いは皆さん共通のものだと思います。昨年、総合的に健康づくりを進めるための指針となる「健康やま21プラン」を策定しました。行政や地域、個人がそれぞれの立場で健康づくりに取り組んでいくことが重要となっています。四月には、地方分権が拡大する中で、新たな行政課題や町民の皆さんの多様なニーズに対応しながら効率的な行政運営を進めるため、行政組織の機構改革を実施しました。

若手漁業者が将来の漁業の在り方や、振興策を考える場として設置された「水産21世紀会議」は、三月をもって三カ年の活動を終えました。さらにこの活動の成果を持続させるため、引き続き「水産グループ21」を組織。新メンバーにより活発な活動が展開されています。山田の魅力発信実行委員会主催の「やまだてんこ盛りフェスタ2004」として、「オランダ島&鯨まつり」や「やまだイケ麺!!スタンプラリー」などが開催されました。観光振興と商店街の活性化につながればと期待を寄せているところです。十月末には、家畜排せつ物から有機肥料を製造する町堆肥センターが完成。本町の資源循環型農業の構築に向けた取り組みが始まりました。

第七次総合発展計画の最終年度に当たる今年、各事業の目標達成に向け、一層努力していただくこととなります。下水道や土地画整理、町管住宅柳沢団地建て替えなど、生活環境の基盤整備に継続して取り組むほか、安全で災害に強い町づくりを推進するため、地域防災計画の総合的な見直しを行っていきます。また今年、山田町が合併して五十周年の記念すべき節目の年となります。先輩諸氏が営々と築き上げてきた「ふるさと山田」の歴史の重さをあらためて思いながら、さらに次の世代に引き継ぐための私たちの決意を固めるためにも、ささやかではあります。記念式典を予定しております。